

ベンチの座り心地を確かめる
施設関係者と、それを見守る
学生たち―浜松市北区の聖隷
クリストファー大で



学生手作りベンチ
施設などに贈呈

聖隷クリストファー大

聖隷クリストファー大学
(浜松市北区)のリハビリ
テーション学部作業療法学
科の二年生三十二人が二十
七日、浜松市内と愛知県豊
橋市内の福祉施設などに二
人掛け木製ベンチを贈呈し
た。

ベンチは学生たちが一年
時の講義で製作したもので、
NPO法人あくしす
(浜松市中央区)、館山寺町
自治会(同市西区)など応
募していた六団体が受け取
った。

同学科の学生は日ごろ、
作業などを通じて病気の回
復を図る療法を学んでいる。
その一環としてベンチ
を製作するのは今回で七回
目。前回までは材料に輸入
材を使っていたが、今回は
初めて天竜区産のスギ材を
使い、六つのグループが思
い思いのデザインで仕上げ
た。

贈呈式で、学生代表の小
柴皓嗣（小柴）さんは「心を込めて
使いやすいように作った。
ぜひ使ってほしい」とあい
さつした。(武藤康弘)